

領 収 書

大山圭司 様

¥ 2,000 -

ただし、両毛六市議会議長会議員研修会負担金として
上記金額を領収いたしました。

令和8年1月8日

両毛六市議会議長会会長
桐生市議会議長 人見 武男



領 収 書

大山 圭司 様

¥ 1,000 -

ただし、両毛六市議員懇談会研修会出席者負担金として領収いたしました。

令和8年1月26日

両毛六市議員懇談会
会 長 高木 きよし



領収証

2025 年 11 月 10 日

大山圭司

様

★
¥5,000

但 2025年11月10日(月)10時～村山講師【東京】財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区浦

TEL 050-1089-9835



行政視察 大山 圭司 議員


日時: 令和8年1月15日(木)

場所: リファレンス西新宿大京ビル(東京都新宿区西新宿7丁目21-3)

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅~西新宿駅	鉄道	往復	170.4	3,160				3,160
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				3,160	0	0	0	3,160

宿泊料@16,500×0泊	0 円
交通費	3,160 円
(うち航空運賃)	0 円)
計	3,160 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 亀田 昌久 

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領収証

2026年1月15日

佐野市議会議員 大山圭司 様

★ ¥30,000

但

2026/1/15(木)10時～森講師【東京】公共施設問題の基礎

2026/1/15(木)13時半～森講師【東京】学校統廃合と公共施設問題

研修会受講代として

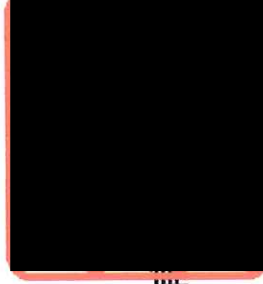
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835



行政視察 大山 圭司 議員

日時: 令和8年2月13日(金)

場所: リファレンス西新宿大京ビル(東京都新宿区西新宿7丁目21-3)

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～西新宿駅	鉄道	往復	170.4	3,160				3,160
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				3,160	0	0	0	3,160

宿泊料@16,500×0泊	0 円
交通費	3,160 円
(うち航空運賃)	0 円)
計	3,160 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 亀田 昌久

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領収証

2026 年 2 月 13 日

大山圭司

様

★
¥30,000

但

2026/2/13(金)10時～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎

2026/2/13(金)13時半～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議会質問の作り方

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区洋

TEL 050-1089-9835



領収証

2026年3月24日

大山圭司

様

★
¥30,000

但 2026年3月24日(火)10時～今村先生【東京】財政の基礎
2026年3月24日(火)13時半～今村先生【東京】歳入の基礎

研修会受講代として

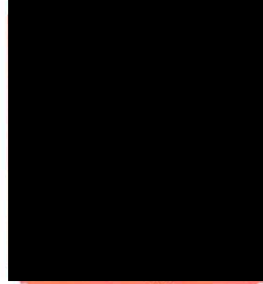
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835



【政務活動費 活動報告書】

1. 研修名

財源をつくり、破綻を防ぐ！
地方財政セミナー

2. 実施日

令和7年11月10日

3. 会場

リファレンス西新宿大京ビル

4. 講師

村山 祥栄

5. 参加目的

アフターコロナにおける地方自治体の財政運営の在り方を学び、特に基金の適正な活用や財政改革の方向性について理解を深めることを目的として参加した。

6. 研修内容

(1) コロナ禍を起点とした財政状況の変化

- ・コロナ対策により多くの自治体で財政調整基金の取り崩しが発生
- ・一時的な財政出動により「見かけ上の黒字」が発生しているケースもある

(2) 自治体財政圧迫の主な要因

- ・財政調整基金の安易な取り崩し
- ・臨時財政対策債の増加
- ・社会保障費の増大

(3) 基金運用の課題

- ・基金は本来、将来の不測の事態に備えるもの
- ・しかし実態としては毎年の赤字補填に使われるケースが多い
- ・基金の過度な依存は持続可能な財政運営を阻害する

【政務活動費 活動報告書】

1. 研修名

公共施設特別講座（学校統廃合と公共施設問題）

2. 実施日

令和8年1月15日

3. 会場

リファレンス西大久保大京ビル

4. 講師

森 裕之 氏（立命館大学教授、総務省経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー）

5. 参加目的

人口減少や少子高齢化の進展に伴い、公共施設の適正配置や学校統廃合が全国的な課題となっている。本研修では、公共施設マネジメントの考え方や財政的視点を学び、持続可能な地域運営と住民サービスの維持向上に資する政策立案能力の向上を目的として参加した。

6. 研修内容

本講座では、「学校統廃合と公共施設問題」をテーマに、公共施設の現状と課題、今後の方向性について体系的に学んだ。

主な内容は以下のとおりである。

- ・ 公共施設の老朽化と更新費用の増大
- ・ 人口減少に伴う施設需要の変化
- ・ 学校統廃合の必要性とその影響
- ・ 公共施設マネジメントの基本的な考え方
- ・ 財政負担の平準化と長期的視点の重要性
- ・ 地域コミュニティへの影響と配慮すべき点

特に、学校統廃合については単なる効率化の視点だけでなく、地域コミュニティの維持や子育て環境への影響を踏まえた総合的な判断が必要であることが強調された。

7. 所感・今後の活用

今回の研修を通じて、公共施設の維持管理は単なるコスト削減ではなく、将来世代への責任を踏まえた「経営」の視点が不可欠であると認識した。

特に、学校統廃合は教育環境の向上と財政健全化の両立を図る一方で、地域コミュニティの衰退を招く可能性もあるため、慎重かつ丁寧な合意形成が重要であると感じた。

今後は、

- ・ 公共施設の適正配置に関する議論への活用
- ・ 財政状況を踏まえた政策提言
- ・ 地域住民への丁寧な説明と合意形成の推進

などに取り組み、持続可能なまちづくりに寄与していきたい。



【政務活動費 活動報告書】

1. 研修名

生成AIを活用した議員活動の基礎および議会質問の作り方

2. 実施日

令和8年2月13日

3. 会場

リファレンス西新宿大京ビル

4. 講師

木村亮太 氏

5. 参加目的

近年急速に普及している生成AI（ChatGPT）について理解を深め、議員活動における情報収集・分析・発信力の向上を図るとともに、より質の高い議会質問の作成に活かすことを目的として参加した。

6. 研修内容

本研修では、生成AI（ChatGPT）の基本的な仕組みから、議員活動への具体的な活用方法まで幅広く学んだ。

午前の部では、生成AIの基本機能や活用事例として、以下の内容が説明された。

- ・生成AIでできること（文章作成、要約、アイデア出し等）
- ・議員活動における基本的な活用方法
- ・議会発言や一般質問作成における活用方法
- ・ブログや広報活動への応用
- ・AI時代における議員の役割と在り方

午後の部では、より実践的な内容として、議会質問の作り方について学んだ。

- ・行政資料の分析および要約の手法
- ・財政分析や事業評価への活用方法
- ・政策立案に必要な視点とAIの活用
- ・説得力のある質問構築のプロセス

7. 所感・今後の活用

今回の研修を通じて、生成AIは単なる効率化ツールではなく、議員活動の質を高める重要な支援ツールであると認識した。

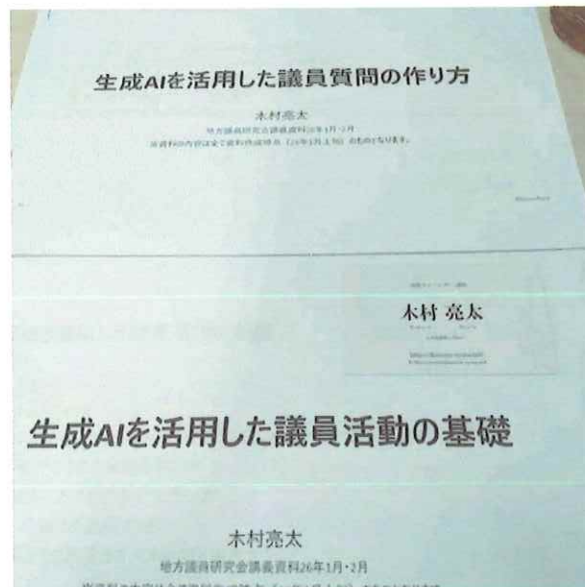
特に、行政資料の要約や論点整理、質問案のたたき台作成においては、短時間で多角的な視点を得ることができ、業務効率の向上と政策の質の向上が期待できる。

一方で、AIの出力内容をそのまま使用するのではなく、最終的な判断や責任は議員自身が担う必要があることも重要であると感じた。

今後は、

- ・ 議会質問の作成
- ・ 市民への情報発信（広報・SNS）
- ・ 政策立案における資料分析

などに積極的に活用し、市民にとってより分かりやすく、有益な議員活動につなげていきたい。



【政務活動費 活動報告書】

1. 研修名

基礎研修（自治体財政の基礎）

2. 実施日

令和8年3月24日

3. 会場

リファレンス西新宿大京ビル

4. 講師

今村 寛 氏（Office aNueNue代表）

5. 参加目的

自治体財政の基本構造や予算・決算の仕組み、歳入・歳出の考え方について理解を深め、限られた財源の中で効果的な政策立案および適切な財政判断を行う能力の向上を目的として参加した。

6. 研修内容

本研修では、自治体財政の基礎について、歳入・歳出の両面から体系的に学んだ。

午前の部では「財政の基礎」として、

- ・自治体財政の基本ルール
- ・財政課の役割と機能
- ・予算および決算の流れ
- ・国と地方の財政関係

などについて説明があった。

午後の部では「歳入の基礎」として、

- ・歳入の基本構造
- ・地方交付税の仕組み
- ・地方債の役割と運用
- ・ふるさと納税と自治体財政への影響

などについて理解を深めた。

全体を通して、自治体財政は単なる収支管理ではなく、政策の優先順位や将来世代への負担を見据えた経営的視点が重要であることが強調された。

7. 所感・今後の活用

今回の研修を通じて、自治体財政は専門性が高い分野であるが、議員として正確に理解することが政策判断の質を大きく左右することを改めて認識した。

特に、歳入の仕組みや地方交付税、地方債の役割を理解することで、単年度の収支だけでなく中長期的な財政運営の視点を持つ重要性を実感した。

今後は、

- ・ 予算審査および決算審査への活用
- ・ 財政状況を踏まえた政策提言
- ・ 市民に対する分かりやすい説明責任の履行

などに取り組み、健全で持続可能な財政運営に寄与していきたい。

